

【令和6年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性がありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	財 団 名 奨 学 会 等 名	給付／ 貸与	金額（円）	受給期間	出 発 地 等			※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。	金体での 採用人数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数					
						学部	修士 (前期)	博士 (後期)											
1月	大学推薦	(一財)岩崎ともみ奨学財団	給付	30,000円／月額	募集年度4月から1年間	○ 2～3年生			併用可	○				・募集前年度2月時点で学部2～3年生の者 ・修学支援新制度による支援の認定を受けている者 ・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する旅行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団が主催する行事への出席を優先できる者	30名	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)旭硝子財団	給付	修士:100,000円／月額 博士:120,000円／月額	正規の最短期修業年限		○ 1年生	○ 1年生	人文・社会科学系、自然科学系	他機関より月額12万円以上の給付奨学金等を受けていない者	○	○		・募集年度4月時点で修士(博士前期)1年生または博士後期1年生に在学する日本国籍を有する学生で、品行方正、学術に優れ、健康であり、学費の支援が必要と認められる者 ・独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに取り組む者、持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者 ・社会人学生は原則応募不可、学生の身分を保有したまま、大学などから報酬を受ける場合(アルバイト、TA、RA従事者等)は実施時間及び報酬額によって応募可否が変わるため、申請時に申し出ること ・奨学金振付式、制度説明会に参加できる者	修士20名程度 博士10名程度	各学系(修士1名、博士1名)	10名	2名	0名
2月	大学推薦	(公財)浦上奨学会	給付	40,000円／月額	正規の最短期修業年限		○ 入学者	○ 入学者		給付型奨学金との併用不可(当会以外の海外留学奨学金、貸与型奨学金は除く)	○	○	○	・広島県出身者で募集年度4月に修士(博士前期)または博士後期に入学する者 ・学業、人物ともに優秀で心身ともに健康である者 ・経済的支援を必要とする者(日本学生支援機構第一奨学金(大学生)と同等の家計基準適用)	10名程度	1名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)G-7奨学財団	給付	上限100,000円／月額 (年間上限1,200,000円)	募集年度4月から1年間 (継続の再申請可能、標準修業年限を上限として支給)	○	○	○		併用可(ただし支給額を調整することあり)	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・学業優秀で心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者 ・家計要件、学力要件あり	85名程度	1名	11名	2名	1名
2月	大学推薦	(公財)JPC奨学財団	給付	35,000円／月額	正規の最短期修学期間	○ 1年生	○ 1年生		30歳以下(募集年度4月1日時点)	理工系	併用可	○	○	募集年度4月時点で学部1年生あるいは修士(博士前期)1年生に在学する者 ・学業、人物ともに優秀であり、健康である者 ・学部1年生は出身高校の学校長から推薦が得られる者 ※学部1年生のみ面談あり(6月初旬予定) ※他の奨学金を受給する場合でも応募可能(ただし、選考にあたっては他の奨学金の受給状況を考慮)	13名程度	2名程度	26名	2名	0名
2月	大学推薦	(公財)同盟育成会 古野給付奨学生(学部生)	給付	40,000円／月額	正規の最短期修業年限		○ 3年生			ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○	・募集年度4月に学部3年生に進級し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に勤んでいる者(卒業後の進路の拘束はなし) ・志操堅固、健康優良で学業成績優秀な者 ・学部1、2年生の成績で優以上の評価が5割以上ある者 ・毎年、作文(7月と12月)、アンケート(11月上旬)の提出ができる者 ・財団が主催する研修会に出席できる者(年数回)	20名	3名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)同盟育成会 古野給付奨学生(院生)	給付	60,000円／月額	正規の最短期修業年限		○ 1年生			ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○	・募集年度4月に修士(博士前期)1年生に進学し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に勤んでいる者(修了後の進路の拘束はなし) ・志操堅固、健康優良で学業成績優秀な者 ・学部3、4年生の成績で優以上の評価が5割以上ある者 ・研究レポート(初年度7月と12月および次年度7月)、修士論文の要約(次年度12月)、アンケート(毎年11月上旬)の提出ができる者 ・財団が主催する研修会に出席できる者(年数回)	20名	3名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)日本証券奨学財団	給付	自宅45,000円／月額 自宅外55,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2年生	○ 1年生	○ 1年生	学部22歳以下、修士25歳以下、博士28歳以下(募集年度4月1日時点)	他の奨学金との併用・併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金は除く)	○	○		・将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者 ・財団が主催する各種行事に出席できる者 ・奨学生修了時に「証券奨学同友会」に加入し、勤務先や居所の変更等報告を行うこと	60名程度	3名	4名	2名	0名
2月	大学推薦	(公財)阪和育英会	給付	30,000円／月額	正規の最短期修業年限	○					併用可	○	○	・日本国籍を有する学部生(留年生は不可) ・品行方正、心身健康で学業成績優秀な者(新1年生:高校3年間の評定平均値4.3以上、新2～4年生:GPA3.0以上) ・将来社会で活躍が期待される者 ・経済的理由により修学が困難な者(世帯年収税込が600万円未満) ・財団が定める報告書を適時提出できる者	23名程度	1名	4名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)フジシール財団	給付	学部:50,000円／月額 修士:60,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 3年生	○ 1年生				給付型奨学金との併用不可(学内奨学金、日本学生支援機構給付奨学金および海外留学支援の奨学金は除く)	○		・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者 ・チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつ者 ・パッケージに関連のある分野を専攻する者(化学、機械、電気電子、パッケージデザイン、リベラルアーツ、マーケティングなど、詳細は募集要項確認) ・財団が主催する認定式および研修会に必ず出席できる者 ・財団が定めるレポート等を適時提出できる者(年4回程度)	学部27名程度 院生27名程度	学部1名 院生1名	5名	2名	1名
2月	大学推薦	(公財)古河記念基金	給付	自宅30,000円／月額 自宅外35,000円／月額	正規の最短期修業年限 (最長6年)	○ 2～4年生	○	○	理工科系	併用可	○	○		・日本国籍を有し、募集年度4月時点で学部2年生以上または大学院に在学する理工系系専攻(薬学系含む)の者(金属その他資源関係の学生は優先する) ・学業成績や取得単位数が優秀で、卒業までの進級が十分見込める者 ・前年の世帯年収税込900万円を超えない者(年金収入および兄妹の収入は算入しない)	記載無	1名	5名	1名	1名
2月	大学推薦	＜新規財団＞ (一財)ヨコオ育英会	給付	学部:30,000円／月額 修士:60,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2年生	○ 1年生		理工学部	併用可		○		・経済的な理由により学費の支弁が困難な者 ・財団が定める報告書を適時提出できる者	5名程度	1名	11名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)吉田育英会 ドクター21 【予約採用】	給付	・20万円／月額 ・学校納付金として合計250万円以内の実費 ・海外研究活動支援として合計100万円以内の実費	正規の最短期修業年限		○ 2年生	○ 入学希望者	30歳未満(秋季募集年度4月1日時点)	自然科学系	併用不可(条件付きで日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○	以下のすべてに該当する者 ①秋季募集年度4月1日時点で修士(博士前期)2年生に在学し、春季募集年度4月に博士後期に入学を希望する者 ②自然科学系分野を専攻し、学術研究のレベルが高い者 ・パッケージに関連のある分野を専攻する者(化学、機械、電気電子、パッケージデザイン、リベラルアーツ、マーケティングなど、詳細は募集要項確認) ・財団が主催する認定式および研修会に必ず出席できる者 ・財団が定めるレポート等を適時提出できる者(年4回程度)	5名程度	2名	2名	2名	0名
3月	大学推薦	(公財)アイザワ記念育英財団	給付	30,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2～4年生					併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、授業料免除は除く)	○	○	・募集年度4月時点で学部2～4年生に在学する者 ・留学する予定のない者 ・人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・将来、産業・文化面において社会に貢献しようとする者 ・財団が主催する行事に必ず出席できる者	記載無	1名	4名	1名	1名
3月	大学推薦	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団	給付	200,000円／年額(一括支給)	募集年度1回		○	○			併用可	○	○	・食科学に関連する研究を行なう大学院生で、学業、人物共に優秀かつ健康であり、学費の支援が必要と認められる者 ・就学および生活状況を毎月報告、年度末に財団指定の書類が提出できる者 ・留学予定のない者	100名程度	2名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(公財)伊勢丹奨学会	給付	30,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 1年生			経済学部、経営学部	併用可	○	○		・募集年度4月入学の学部1年生で、将来良識ある社会人として活動できる見込みがある者 ・高校の最終2年生の学業成績の評定平均値が3.5以上の者 ・学業、人物ともに優秀、修学可能な心身で、学費の支弁が困難な者 ・財団が主催する行事に積極的に参加できる者	記載無	3名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(公財)いであ環境・文化財団	給付	200,000円／年額(一括支給)	募集年度1回	○ 2～4年生	○	○	環境分野	併用可	○			・募集年度4月1日時点で学部2年生以上(大学院博士課程までを含む)で正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための専門科目を専攻している者(環境分野におけるシンポジウム等での発表や環境政策提言等を行った経験があれば尚可とする) ・原則として、GPAが2.5以上の者 ・財団が定める活動報告書を適時提出できる者	30名程度	各学部、各研究科3名まで	9名	6名	3名
3月	大学推薦	(公財)エンプラス横田教育振興財団	給付	50,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2～4年生			理工学部	給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○		・募集年度4月時点で学部2～4年生に在学する者 ・学業優秀であり、経済的援助が必要と認められる者 ・心身ともに優れている者で高い志を持ち、品行が正しく、将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者 ・申込時点で他の給付奨学金を受けていない者 ・財団が定める書類を適時提出できる者	11名程度	1名	6名	1名	1名
3月	大学推薦	(公財)大林財団	給付	50,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2年生			22歳以下(募集年度4月1日時点)		給付型奨学金の併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金を除く)	○	○	・募集年度4月時点で学部2年生である者 ・アルバイトを扱い卒業経験のない者 ・都市に関連ある分野の実業、実務または学術研究に将来従事しようとする者 ・経済的理由により修学が困難な者 ・財団が主催する行事に必ず出席できる者	2名	0名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(公財)小原白梅育英基金	給付	50,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 1年生					併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、授業料免除は除く)	○	○	・募集年度4月入学の学部1年生で、高等学校の評定平均3.5以上の者 ・世帯収入が日本学生支援機構第一奨学金の基準内 ・学術優秀で品行方正、礼儀、礼節、身なり、言葉遣いが当育英基金の奨学生として相応しい者 ・男女共に適度な恋愛をしていない者、男子においては髪、長髪等でない者 ・合格証交付式に必ず出席できる者 ・採用された後、日本学生支援機構給付型奨学金を受給するために、本奨学金を辞退することは不可とする	30名程度	2名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	＜新規財団＞ (一財)ケーオー・デンタル・小坪清彦育英財団	給付	30,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2年生			23歳以下(募集年度4月1日時点)		併用可	○	○	・学業優秀で心身ともに健康である者。 ・家計要件あり ・毎年度末に財団指定書類を提出できる者	10名程度	3名	3名	3名	1名
3月	大学推薦	(公財)国土育英会	給付	18,000円／月額	正規の最短期修業年限	○	○	○			併用可	○	○	・募集年度4月時点で正規性として学部生、院生として在学する者 ・健康優良で学業、人物ともに優秀な者 ・毎年度末に財団が指定する書類を適時提出できる者 ・財団が主催する交流会に出席できる者	12名	2名	20名	2名	0名
3月	大学推薦	(公財)佐藤定雄国際奨学財団	給付	30,000円／月額	正規の最短期修学期間	○ 2～3年生			理工系又はスポーツに勤む者		併用可	○	○	・募集年度4月時点で学部2～3年生に在学する者 ・品行方正、志操堅固、健康で学業成績優秀(理工系の学部に通う学生、又は、スポーツに勤んでいる者(全学部対象、全国大会レベル程度の成績がある者)) ・家計要件あり(世帯年収税込800万円未満、就学中の兄弟姉妹が本人含め3人以上の場合は世帯年収税込1,000万円未満が目安)	15名程度	3名程度	3名 留学生5名	4名	2名
3月	大学推薦	(公財)CTC未来財団	給付	60,000円／月額	正規の最短期修学期間	○ 1年生、3年次編入生			20歳以下、3年次編入生22歳以下(募集年度4月1日時点)	IT	併用可	○	○	・募集年度4月に学部1に入学する者 ・財団が定める学力要件及び家計要件を満たす、品行方正、学業優秀な者 ・修学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・ITを活用して様々な社会課題を解決する意欲を持つ者	20名程度	3名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(一財)清水育英会	給付	50,000円／月額	正規の最短期修学期間	○ 2～4年生	○		学部満23歳以下、院生満33歳以下(募集年度4月1日時点)	建築、土木又は都市計画等	併用可	○	○	・学業優秀であり、心身ともに優れている者 ・学費の支弁が困難な者 ・学力要件、家計要件あり ※特に成績が優秀で経済的理由により学業の継続が困難な学生に対して、上記給付月額に月額30,000円を加算支給する場合あり	40名程度	3名以内	4名	2名	1名
3月	大学推薦	(一財)セレ奨学財団	給付	50,000円／月額	募集年度4月から1年間	○ 2～3年生			満23歳以下(募集年度4月1日時点)	都市科学部建築学科	併用可	○	○	・募集年度4月時点で学部3～4年生に在学する者 ・住まいに関する分野の学業を積極的に勤む者 ・心身ともに健康な者、人物優良、品行方正な者で、学費の支弁が困難と認められる者 ・給与世帯年収税込700万円未満、給付以外世帯課税所得350万円未満の者 ・財団が主催する交流会等へ参加できる者	30名	1名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	(公財)TAKEUCHI育英奨学会	給付	60,000円／月額	募集年度4月から2年間	○ 2～3年生	○ 1年生		理工系(機械工学、電気工学、制御工学等)	併用可	○	○		・長野県出身者で、募集年度4月時点で学部2～3年生あるいは修士(博士前期)1年生に在学する者 ・品行方正、志操堅固、健康で学業成績が優秀である者 ・財団が主催する様式、交流会(初年度1回)に必ず出席できる者 ・財団が指定する書類を適時提出できる者	70名程度	—	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(一財)辰野環境財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○ 3年生					併用可	○	○	・将来、地球環境問題解決に寄与し、社会貢献を目指す者 ・学業、人物ともに優秀かつ健康であり、経済的支援を必要とする者 ・財団が要請するレポート等適時提出できる者	15名	2名	2名	1名	0名
3月	大学推薦	(公財)中部奨学会	給付	学部:給付・貸与35,000円／月額 修士(博士前期):給付・貸与60,000円／月額 博士後期:給付60,000円／月額 ※来生では貸与生は原則募集しません。	正規の最短期修業年限	○	○	○			併用可	○	○	・人物、学業ともに特に優れ、健康でありながら、経済的理由により著しく就学が困難な者 ※毎年人気の奨学金のため、最近では採択率が非常に低傾向(実績は奨学会様HPを確認)。今年度も同様とは限らないが、留意の上申請すること	学部(給付4名、貸与8名) 修士(給付2名、貸与4名) 博士(給付6名)	募集人数を超えない範囲	17名	2名	0名
3月	大学推薦	(公財)博報堂教育財団	給付	A 授業料相当額:50,000円／月額※ イ 自宅外生への特別支援額:50,000円／月額※	正規の最短期修業年限	○				教育学部	給付型奨学金との併用不可(授業料免除は除く)	○	○	・小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す者 (※第1推薦枠は小学校教員志望者、第2推薦枠は小学校教員・特別支援学校教員・中学・高等学校国語科教員志望者のいずれか) ・学業優秀であり、教員になる熱意、教員としての資質や成長が期待できる行動特性、国語力があると認められる者 ※授業料免除の併用の場合、減額の可能性あり ※自宅外生の認定は採用後「自宅外通学申し込み書」により財団が認定	100名程度	第1推薦枠1名 第2推薦枠1名	3名	2名	2名
3月	大学推薦	(公益信託)萬倉記念かながわ奨学基金	給付	修士:800,000円／年額 博士:1,200,000円／年額	正規の最短期修業年限		○ 1年生	○ 1年生	理学、工学	併用不可	○	○		・品行方正、健康で、学業成績が優秀な者	5名	3名	6名	3名	1名
3月	大学推薦	(公財)三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円／月額	正規の最短期修業年限	○ 2年生			満23歳以下(募集年度4月1日時点)	経済学部、経営学部、理工学部	併用可 (財団に要届出)	○	○	・募集年度4月時点で学部2年生に在学する者 ・父母の税込年収合計800万円未満(就学中の兄弟姉妹が本人含め3人以上の場合は1千万円未満)の者 ・心身ともに健康で学業成績、人物ともに優れている者 ・将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務し、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 ・財団が主催する行事に出席できる者。	記載無	2名	5名	2名	2名
3月	大学推薦	(公財)吉田育英会 マスター21 【予約採用】	給付	・①8万円／月額 または ②学校納付金として合計250万円以内の実費 ・海外研究活動支援金として合計50万円以内の実費	正規の最短期修業年限	○ 4年生	○ 入学希望者		27歳未満(秋季募集年度4月1日時点)	自然科学系	併用不可(条件付きで日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○	以下のすべてに該当する者 ①秋季募集年度4月1日時点で学部4年生に在学し、春季募集4月に修士(博士前期)に入学を希望する者 ②大学院進学目的の意識を明確に持ち、院において自然科学系分野を専攻する者 ③成果の社会還元を志を有し、影響力を期待できる者 ④リーダーとしての資質があり、国際的に活躍することを目指す者	15名	1名	3名	1名	0名

【令和6年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	財 団 名 奨 学 金 等 名	給付／ 貸与	金額（円）	受給期間	期 間			年齢	専門分野	併用条件	学力 要件	経済 評価	面 接	※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。	金体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数
						学部	修士 （前期）	博士 （後期）												
7月	大学推薦	（一財）種とまと財団	給付	80,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 4年連続 予定者	○ 進学予 定者言			理工系、情報系	併用不可（日本学生支援機構奨 学金、地方自治体奨学金、授業 料免除は除く）	○	○	○	・日本語を有し、募集年度4月に理工系大学の学部3年生で4年生へ進級が見込まれる者、または学部4年生で学内の修士 （博士前期）へ進学が決定している者 ・卒業優秀、健康、品行方正であり、経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・財団が生産する報告会等に出席できる者	30名	1名	6名	1名	1名
8月	大学推薦	（公財）帝人奨学会 帝人久村奨学生（博士課程）※	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限			○		医学・薬学・バイオ 学系、理学系、工 学系、情報学系等	併用可	○		○	・募集前年度秋（9月・10月）または募集年度4月に博士後期に進学することが決定している、または見込まれる学生 ・選考面接のほか専門面接あり	10名程度	1名	6名	1名	0名
8月	大学推薦	（公財）林レオロジー記念財団	給付	学部：30,000円／月額 院生：50,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 3～4年 生連続 予定者	○ 進学予 定者言			工学部・理学部系	併用可	○			・募集年度4月に学部3年生もしくは4年生に進級する者、または修士（博士前期）1年生に進学希望もしくは2年生に進級する者 ・未来に役立つ理論、メカニズムの設計工学、ロボット工学、AI技術、IT技術、制御工学等の自動製造システムに関する学問を 習得または学術研究を志す理工学部系の院生および学部生 ・食品産業に関する生命科学部系の院生および学部生 ・品行方正で学習意欲の高い者	院生30名 学生10名	各1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	（公財）松蔭奨学育成基金 ≪長崎県≫	貸与	42,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○					併用可	○	○		・長崎県内に住所を有する者の子弟で、下記①または②に該当し、成績優秀（5段階評価で概ね3.3以上）、品行方正で身体強 健である者 ①交通事故によって家計支持者または保護者が死亡または当該事故に起因する重度の後遺障害のため就業不能となった結 果、経済的に支障を生じ、修学の継続等が困難となった者（※交通死亡（①）に該当する者）は貸与奨学金の半額を返還免除す る ②上記①以外で、向学心に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、修学の継続が著しく困難である者 ※7月に追加募集あり	記載無	記載無	0名	0名	0名
2月	大学推薦	（公財）松蔭奨学育成基金 ≪長崎県≫	貸与	42,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○					併用可	○	○		・長崎県内に住所を有する者の子弟で、下記①または②に該当し、成績優秀（5段階評価で概ね3.3以上）、品行方正で身体強 健である者 ①交通事故によって家計支持者または保護者が死亡または当該事故に起因する重度の後遺障害のため就業不能となった結 果、経済的に支障を生じ、修学の継続等が困難となった者（※交通死亡（①）に該当する者）は貸与奨学金の半額を返還免除す る ②上記①以外で、向学心に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、修学の継続が著しく困難である者 ※7月に追加募集あり	記載無	記載無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）小堀健久学生等支援会 ≪前期募集≫	貸与	40,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○	○			理工農系（医・歯学 系を除く）	併用可	○	○		・成績優秀で向学心に富み、品行方正である者 ・給与と世帯年収税込1,000万円以下である者 ※学部生は、本学の大学院進学の場合、更新手続きを経て2年間延長可能	記載無	4名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	福島県教育委員会	貸与	35,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○					貸与型奨学金との併用不可	○	○		・福島県内の高校を卒業した者等または県外の高校を卒業し、高校卒業の月に福島県奨学金を受けていた者 ・学力要件：1年生は高校の最終2カ年の評定平均3.0以上、2年生以上はさらに大学での成績が属する学部の平均水準以上で ある者 ・家計要件：生計維持者の世帯年収が規定する基準額以下である者	120名程度（予約 採用内定者30名 を含む）	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）みずほ育英会	貸与	学部：50,000円／月額（無利子） 院生：60,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○	○	○			併用可	○	○		・賞資並びに学業成績優秀でかつ健康な学生である者 ・経済的理由により学士の奨助を必要とする者（給与と世帯年収税込1,000万円以下） ・みずほ育英会事務局にて直接、奨学金の交付を受けられる者	30名程度	2～3名	2名	1名	1名
4月	大学推薦	（公財）味の素奨学会	貸与	学部：自宅30,000円、自宅外35,000円／月 額（無利子） 院生：自宅40,000円、自宅外45,000円／月 額（無利子）	正規の最短修業年限	○ 3～4年 生	○	○		理系	併用可	○	○	○	・化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する者 ・学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有し、かつ経済的援助を必要とする者 ※鈴木ナカ記念奨学制度による返還免除制度あり（女性）	20名	2～3名	0名		
4月	大学推薦	石川県教育委員会	貸与	44,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○					日本学生支援機構奨学金貸与 奨学金との併用不可	○	○		・保護者が石川県内に引き続き3年以上居住している者 ・勉学意欲があり、学費の支弁が困難な者である者（父母の年収制限あり）	80名	学内選考無			
4月	大学推薦	川崎市教育委員会	貸与	38,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○ 1年生						○	○	○	・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学費の支弁が困難であり、学業成績が優良で、行性が善良であること	10名程度	学内選考無			
4月	大学推薦	（一財）関育英奨学会	貸与	30,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○ 2～4年 生					併用可（採用・不採用については 考慮の上）	○	○	○	・人物、学業とも優秀かつ健康でありながら、学費の支弁が困難と認められる者	20名	1～2名	2名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）フジクラ育英会	貸与	学部：30,000円／月額（無利子） 院生：40,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○	○	○				○	○	○	・学部生および大学院生（ただし、学部生優先） ・日本語を有する者 ・学力、人物、健康ともに優れておりながら、学費の支弁が困難な者	記載無	1名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）宮崎県奨学会 ≪宮崎県≫	貸与	25,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○ 1年生					給付型奨学金との併用可 貸与型奨学金との併用不可	○	○		・宮崎県に本籍を有する者または本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ・募集年度4月入学の学部1年生で経済的理由により修学困難な者※在学中で希望する場合は個別に問い合わせ ・宮崎県の教員として勤務している期間は、その返還を免除とする（2名）	5名程度	学内選考無	0名	0名	0名
1月	直接応募	（公債）池田育英会トラスト ≪愛媛県≫	給付	17,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～4年 生	○	○			併用可	○	○		・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学業、人物ともに優秀で、経済的支援の必要な者	5名（予定）				
1月	直接応募	（公財）キーエンス財団	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 1年生			20歳以下（募集年 度4月1日時点）		給付型奨学金との併用不可（海 外留学支援の奨学金、授業料免 除は除く）	○	○		・募集年度4月入学の学部1年生で日本語を有する者 ・経済的な支援を必要とする者 ・給付期間中において、財団が定めるレポート等を期日までに提出できる者 ・採用された場合、日本学生支援機構の給付奨学金は支給停止を申請すること	600名程度				
1月	直接応募	（公財）キーエンス財団 （応援給付金）	給付	300,000円／1回	募集年度1回	○ 2～4年 生			23歳以下（募集年 度4月1日時点）		併用可	○			・募集年度4月時点で学部2～4年生で日本語を有している者 ・当財団の奨学生ではない者 ・勉学に勤み、目標をもって頑張っており、最短修業年限にて卒業の見込みがある者	4,000名程度				
1月	直接応募	≪新編財団≫ （一財）大学生奨学財団	給付	100,000円／年額	正規の最短修業期間	○ 2年生			20歳以下（募集前 年度3月30日時 点）		併用可	○	○	○	以下のすべてに該当する者 ①保護者の世帯年収税込500万円以下である者 ②学部・学科の偏差値が可成りの「入試難易度ランキング表」で55.0以上である者 （https://www.koinet.ne.jp/university/ranking/） ③大学1年生のGPAが3.0以上である者 ④大学1年生での取得単位が10単位以上である者 ⑤応募時に必要情報を登録し、面接選考時は日本語で対応できる者	10名				
1月	直接応募	（公財）ナガワヒまわり	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～4年 生	○		学部23歳以下、修 士25歳以下（募集 年度4月1日時点）		併用可	○	○	○	・GPA3.00以上で、給与と世帯年収税込800万円未満の者 ・学術優秀、品行方正でありながら、経済事由により、就学困難である者 ・財団が指定する報告書を適時提出できる者	80名程度				
1月	直接応募	（公財）ひとのわ協会	給付	40,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 3年生			満25歳以下（募集 年度4月1日時点）		併用可	○		○	・募集年度4月時点で学部3年生である者 ・経済的理由により学費の支弁が困難な者 ・財団が定める報告書等を適時提出できる者	10名				
2月	直接応募	（一財）KIRU財団	給付	50,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 3年生	○ 1年生			建築学専攻	給付型奨学金との併願、併用不 可	○	○	○	・日本語を有する者 ・学業、人物とも優秀であり、勉学に意欲がある者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ・財団が生産する行事に参加できる者 ・卒業後も適時近況報告を行なえる者	5名				
2月	直接応募	（公財）サカタ財団	給付	70,000円／月額	募集年度7月から正規 の最短修業年限	○ 2年生	○ 1年生		学年は募集年度4 月時点		併用不可（日本学生支援機構奨 学金は除く）	○		○	・学業に対して熱意をもって取り組んでいる者 ・Nature based solutionあるいは自然資本関連分野に興味、関心がある者 ・将来、社会に貢献したいという強い意欲や高い志を有し、行動を起こしている者 ・財団が定めるレポート等を適時提出できる者 ・財団が生産する交流会（年1回程度）に出席できる者	10名				
2月	直接応募	（公財）常磐奨学会	貸与	30,000円／月額（理系以外） 35,000円／月額（理系）	正規の最短修業年限	○					併用可	○		○	・募集年度4月1日時点で在学中か、4月より入学予定の者 ・福島県いわき市、茨城県北茨城市およびその周辺地域居住者の子弟の者	5名程度				
2月	直接応募	≪新編財団≫ （一財）水道土木振興財団	給付	30,000円／月額	募集年度4月から1年間	○	○	○	25歳以下（応募締 切時点）	水道土木関連学科	併用可	○	○	○	以下のすべてに該当する者 ・学費の援助が必要であると認められる者 ・将来の目標とする仕事や夢が明確に描けている者 ・学業が優秀である者	13名程度				
2月	直接応募	（公財）日本通運育英会	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○			18歳以上21歳以下 （募集年度4月1 日時点）		併用可	○	○	○	・学術優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な者 ・保護者等が交通事故により死亡、または後遺障害（等級等詳細は募集要項確認）が存するに至った者 ・家計要件が財団の定める金額以下に該当する者	20名				
2月	直接応募	（公財）服部国際奨学財団春季	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限	○	○	○	学部25歳未満、修 士32歳未満、博士 38歳未満（募集年 度4月1日時点）		併用可	○	○	○	・品行方正かつ人格円満であり、心身ともに健康で、学業に専念する者 ・他の給付奨学金の合計が10万円／月を超えていない者 ・他の奨学金（給付貸与とも）との合計が20万円／月額以内に限り併用可 ・財団が行う奨学生向けの公益行事並びにその広報活動に積極的に参加する者	10名				
2月	直接応募	（公財）安田奨学財団	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2年生					併用不可（ただし日本学生支援 機構奨学金、および他の貸与型 奨学金は除く）	○	○	○	・募集年度に新2年生に進級する者 ・採用決定後、所定の用紙に毎月大学窓口へ署名ができる者	最大30名				
2月	直接応募	≪新編財団≫ （一財）吉川徹財団	給付	30,000円／月	正規の最短修業年限	○ 1～3年 生			25歳以下（応募締 切時点）		併用可	○			・将来ITエンジニアまたはWEBデザイナーとしてキャリアを築くことを希望している者 ・財団が生産する交流会に参加できる者 ・財団が定めるレポートを適時提出できる者	30名程度				
3月	直接応募	（一財）青木仁志啓育財団	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	経済系学部	併用可	○			・経済的な理由により学費の思弁が困難であること ・GPA3.00以上の者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	（一財）ASJ財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～4年 生	○	○			併用可	○			・日本語を有する者 ・自身の専攻または学業に関する意欲が認められる者 ・心身ともに優れている者	30名程度				
3月	直接応募	（公財）オークネット財団	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	経済学部、経営学 部	併用可	○	○	○	・日本語を有し、経済系学部3年生である者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				2名
3月	直接応募	（一財）オークラ育英財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～4年 生			30歳以下（募集年 度4月1日時点）		併用可	○	○	○	・成績優秀であり、方正謹厳で修学意欲のある者 ・経済的な理由により修学が困難な者	30名程度				
3月	直接応募	岡本育英奨学会	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（募集年 度4月1日時点）	経済学部、経営学 部	併用可	○	○	○	・日本語を有し、経済系学部3年生である者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	（一財）加瀬不動産活用振興財 団	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	経済系学部（経済 学部、経営学部並 びにこれらに類す もの）	併用可	○	○	○	・日本語を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認	10名				
3月	直接応募	（一財）加藤学育英財団	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	化学科に類するもの	併用可	○	○	○	・日本語を有する者 ・化学科に在籍する学部3年生である者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	（一財）上條育英財団	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	経済系学部（経済 学部、経営学部及 び商学部、並びに これらに類するもの）	併用可	○	○	○	・日本語を有する者 ・経済系学部（経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの（例：政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会 学類経済学主専攻））に在学する学部3年生である者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	（一財）神山財団	給付	200,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限			○ 1年生	35歳未満（募集年 度4月1日時点）	絵画		○			・絵画（油画・水彩画・日本画・アクリル画・テンペラ画・フレスコ画・版画など、具象が望ましい）を制作している修士1年生 ・奨学生に認定された後、自身のプロフィールに「当財団からの支援経歴」を記載すること ・将来的に美術を通じて日本社会の発展に貢献する志を持っている者 ・財団が生産する成果展に出展できる者	20名程度				
3月	直接応募	（一財）KAWAJIRI FOUNDATION	給付	480,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下（応募締 切時点）	経済系学部（経済 学部、経営学部並 びにこれらに類す もの）	併用可	○	○		・日本語を					

【令和6年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性がありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内のあった時期	申請方法	財 団 名 奨 学 会 等 名	給付／賞号	金額（円）	受給期間	出 発 地 等										※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						学部 (修士(前期))	修士 (後期)	年齢	専門分野	併用条件	学力要件	経済困難	面接								
3月	直接応募	(一財)ケイズハウス財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの)	併用可		○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・GPAが3.0以上である者	10名					
3月	直接応募	(公財)志・建設技術人材育成財団《兵庫県》	給付	500,000円／年額(半年毎に250,000円)	正規の最短修業年限	○ 1年生				建設系(建築、土木)	併用可			○	・兵庫県出身者(兵庫県内の高等学校卒業者とする)で建設系(建築・土木)の学部で学ぶ1年生 ・大学卒業後、兵庫県内の建設系企業・官公庁に就職を希望する者 ・財団が主催する授与式、セミナー(年2回)に参加できる者	10名					
3月	直接応募	(一財)神保教育文化財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業期間	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	情報工学科(情報システム工学科、情報通信工学科、電気電子情報工学科)	併用可		○	○	以下のすべてに該当する者 ①日本国籍を有する情報工学科に在学する学部3年生である者 ②経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名					
3月	直接応募	(一財)鹿野学術振興財団	給付	50,000円／月額	募集年度8月から1年間	○ 1～3年生	○ 1年生			科学技術関係	併用不可(日本学生支援機構奨学金、授業料免除は除く)		○		・科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)専攻の者 ・卒業後は製造業への就職を希望する者 ・過去に当財団の奨学生に採用されたことがない者 ・奨学生決定通知授与式および報告会に必ず出席できる者	若干名					
3月	直接応募	(公財)戸部真紀財団	給付	50,000円／月額	正規の最短修業期間	○ 3～4年生		○	○	30歳未満(募集年度4月1日時点)	化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学	併用可(ただし他の高額給付奨学金併用の場合は半額となる場合があります)	○	○	・学部3年生以上または大学院生で、化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学の分野で修学している者(専門職学位課程は対象外) ・向学心に富み、学業優秀、かつ、品行方正であり、学費の支弁が困難と認められる者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ・財団が行う交流会あり(1泊2日)(任意) ※給付期間終了後、実績等を審査し、1年間を限度に継続を認める場合あり	40名程度					
3月	直接応募	＜新規財団＞ (公財)中谷医工計測技術振興財団	給付	博士課程前期:120,000円／年額 博士課程後期:200,000円／年額	正規の最短修業年限		○ (入学予定者含)	○		BME分野	併用不可(日本学生支援機構奨学金、公的奨学金は除く)		○	○	・日本国籍を有し、BME分野において修士号の取得を目指す者 ・財団の指定する書類、報告書等適時提出できる者 ・財団が実施する行事に出席できる者	12名程度					
3月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団 下期	給付	自宅生50,000円／月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	募集年度10月から1年間 ※	○		○ 1～2年生		学部生24歳以下、院生26歳以下(募集年度10月1日時点)	給付型奨学金との併用不可	○	○	○	・学力優秀・志場堅実の両方を兼ね備えながらも、経済的理由により就学が困難な者 ・日本国籍を有する者(永住権・定住権を有する者も可) ・財団が主催する交流会に出席できる者 ・財団が求めるレポートの提出を適時できる者 ・アルバイト(月20時間以上)に従事している者 ※支給期間中に卒業する人は、卒業月まで	最大110名 (上期・下期合わせて)					
3月	直接応募	(公財)野島財団	給付	50,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～3年生					併用不可(日本学生支援機構奨与奨学金、授業料免除は除く)		○	○	・学業に対して熱意をもって取り組み、社会に対する貢献意欲の高い者	15名程度					
3月	直接応募	(公財)村井順記念奨学財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 1年生		○ 1年生		募集年度4月入学者	給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)		○	○	・学業優秀、品行方正、身体強健で、経済的理由により修学が困難な者 ・財団が主催する行事(原則年1回)に出席できる者 ・財団が指定する報告書を適時提出できる者	若干名					
3月	直接応募	(一財)森山財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済系学部	併用可			○	・経済的な理由により学費の思弁が困難であること ・GPA3.0以上の者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名					
4月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生:160,000円／年額 学部2年生以上:200,000円／年額	募集年度4月から1年間	○			30歳未満	他の給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)		○	○	○	・学部に在学する在日朝鮮人学生(朝鮮半島にルーツを持つ学生で国籍不同) ・本国からの留学生は除く ・成績優良かつ学費の支弁が困難な者 ・本教育会の指定行事に積極的に参加できる者						
4月	直接応募	(公財)杉山奨学財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済系学部	併用可			○	○	以下のすべてに該当する者 ①日本国籍を有し、経営学部系に在学する学部3年生である者 ②経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	(公財)ダイオーズ記念財団	給付	10,000円／月額	正規の最短修業期間	○ 2～4年生		○	○	学部満23歳以下、院生満33歳以下(募集年度4月2日時点)	併用可	○	○	○	・将来の夢を実現させるために挑戦する意欲を持つ者、もしくは様々な能力を伸ばそうと意欲のある者 ・給与世帯年収税込400万円未満、給与以外世帯課税所得150万円未満 ・GPA3.00以上 ・財団が主催する年2回の報告会に出席できる者	20名					
4月	直接応募	(一財)谷育英財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	理工系学部(理工学部及びこれらに類するもの)	併用可		○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認	10名					
4月	直接応募	＜新規財団＞ (一財)中島洋三記念化学振興財団	給付	30,000円／月	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	化学科に類するもの	併用可		○	○	○	・日本国籍を有し、化学科系に在籍する学部3年生である者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	(一財)野村芳光財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済学部、経営学部	併用可		○	○	・学業優秀で、社会に対する貢献意欲の高い者 ・GPA3.00以上で、家計の収入基準が財団の定める金額以下に該当する者(募集要項確認) ・財団が指定する書類を適時提出できる者	10名					
4月	直接応募	(公財)原・フルタイムシステム科学技術振興財団	給付	40,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 3年生	○ 1年生	○ 1年生	30歳以下(募集年度4月1日時点)	工学系	併用可		○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・財団が定める報告書を適時提出できる者	10名程度					
4月	直接応募	(公財)バロック村井博之財団	給付	400,000円／年額	募集年度4月から1年間	○					併用不可			○	・ボーダレス化が進化する社会において、自らの手で新しい文化を創造し、積極的に世界へ飛躍することを志す者 ・財団が主催する行事に参加できる者	30名程度					
4月	直接応募	(公財)森下仁丹奨学会	給付	30,000円／月	正規の最短修業年限	○	○	○			給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨与型奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)		○	○	・経済的な理由により学費の思弁が困難な者 ・就学の意志が固く、責任感が強く、修業後、社会に有用な人材と成りえる者	30名程度					
4月	直接応募	(一財)山村章奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(募集年度4月1日時点)	工学系	併用可		○	○	・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること ・学業成績 GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照	10名					
4月	直接応募	＜新規財団＞ (一財)和田財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済学部、経営学部	併用可		○	○	・学業優秀で、社会に対する貢献意欲の高い者 ・GPA3.00以上で、家計の収入基準が財団の定める金額以下に該当する者(募集要項確認) ・財団が指定する書類を適時提出できる者	10名					
5月	直接応募	菊地久治塾奨励金 (社)佐倉市社会福祉協議会)	給付	入学料、授業料、施設費等学校納付金として年間1,500,000円を限度とする実費	正規の最短修業年限	○			満23歳未満		併用不可(日本学生支援機構奨与奨学金、授業料免除、貸与型奨学金、通奨奨学金は併用可)		○	○	学部生で、以下のすべてに該当する者 ①在学市在住であり、ひとり親世帯かつ低所得世帯に属している者 ②健康であり、学業成績、人物ともに優秀である者(学業成績目安:大学等における総評定のうちA判定以上が1/3以上であること) ③学費の援助を必要とする家計状況である者 ④日本学生支援機構給付奨学金を受給もしくは申請をしている者	若干名					
5月	直接応募	(公財)寿財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(募集年度4月1日時点)		併用可		○	○	以下のすべてに該当する者 ①学部3年生で日本国籍を有する者 ②経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名					
5月	直接応募	(一財)全国大学生協連奨学財団 (たすけあい奨学制度)	給付	100,000円(一括給付) ※卒業・修了まで5か月未満の場合、月2万円の割合で給付	扶養者が亡くなれて1年以内	○	○	○			併用可		○		・大学、大学院に在学する正規学生で、扶養者が死亡したため学業継続が経済的に著しく困難である者 ・扶養者が亡くなれてから原則として6か月以内の応募であること ・大学生協連各員でなくとも応募可	特になし					
5月	直接応募	(公財)富山文化財団	給付	30,000円／月額	募集年度4月から1年間	○	○	○			併用可		○	○	・「楽しく豊かな遊び文化」「子供の遊育と健やかな成長」「日本のものづくり」のいずれかに関わる事柄について、目標をもって学業に取り組んでいる者 ・毎月1回レポート提出ができる者 ・財団が主催する行事に参加できる者	34名程度					
5月	直接応募	(特非)日本トレーニング指導者協会	給付	講習受講料126,500円+教材費14,080円を免除	募集年度内	○ 3～4年生	○	○					○		・JATI認定トレーニング指導者認定試験取得を目指す者 ・養成講習会を受講でき、かつ自己学習課題を期日までに提出できる者 ・募集年度内のトレーニング指導者認定試験を必ず受験できる者 ※一部自己負担あり	50名程度					
6月	直接応募	(公財)清国奨学会	給付	25,000円／月額	正規の最短修業期間	○ 1年生	○ 1年生		25歳以下(募集年度入学時)		併用可		○	○	以下のすべてに該当する者 ①「ものづくり」に関連する学部(工学部、理工学部等)、または、「福祉」に関連する学部(看護学部、社会福祉学部等)で学ぶ者 ②学業が優れ、品行方正で勉学に熱意があると認められる者 ③経済的理由により修学が困難と認められる者 ④日本国籍を有し、日本国内に居住する者	16名程度					
6月	直接応募	(一財)CWAJ	給付	①視覚障害学生:1,000,000円／年額 ②視覚障害学生海外大学院留学:2,000,000円／年額 ③海外大学院留学:3,000,000円／年額	募集年度1回	○ 3～4年生		○	○		限度額まで他の給付奨学金との併用可 ※詳細は募集要項を確認		○		・視覚障害のある学生で、海外の大学院で勉強する者 ・日本国籍を有する女子学生で、海外の大学院に留学し学ぶ者 ※詳細は募集要項を確認	①2名 ②1名 ③1名					
6月	直接応募	(公財)マブチ国際育英財団	給付	100,000円／月額 入学一時金 300,000円(募集年度4月入学者のみ)	募集年度4月から1年間 ※	○ 1～2年生					給付型奨学金との併用不可※	○	○		・アジア諸国の国籍(日本国籍を含む)を有し日本に在住する学部生で、経済的に困難に就学困難な者(世帯年収税込500万円未満) ・健康で学業成績優秀な者 ※財団の定める条件を満たし、認定された者については正規の修業年限を限度とし支給の継続あり ※日本学生支援機構給付奨学金の月額5万円まで併用を認め、超過金額を当財団の奨学金より減額して支給	65名程度					
7月	直接応募	(公財)渥美国際交流財団	給付	250,000円／月額	募集年度4月または募集年度9月から1年間						併用不可		○	○	・博士後期に在学し、募集次年度3月(秋入学者は9月)までに博士号を取得する見込みのある者(世紀在学年限を超えたため、あるいは海外の大学院より博士号を取得するために研究員等として日本の大学院に在学する者含む) ・在学する大学院研究科と居住地の両方が関東地方にある者 ・国際理解と親善に関心をもち、財団が主催する交流活動に積極的に参加する意思のある者 ・年数回の観戦会に参加でき、奨学生終了後は関口グローバル研究会に入会し、活動に協力できる者	16名					
7月	直接応募	(公財)本原財団	給付	480,000円／年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	理工系学部(理工学部、理学部、工学部並びにこれらに類するもの)	併用可		○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認	10名					
7月	直接応募	＜新規財団＞ (一財)人間塾 井上和子スカラーシップ	給付	100,000円／月額	募集年度内 ※更新可	○ 2～4年生			30歳未満		併用可		○	○	・人間塾の理念を理解し、それを実践する意欲のある者 ・人間塾の主催する研修や講演会に出席する意思のある者 ・人間性豊かで、リーダーとしての資質を有し、将来、社会への影響力を期待できる者 ※保護者面接があり	30名					
7月	直接応募	＜新規財団＞ (一財)深川真マリモ奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短修業年限	○ 3年生			25歳以下(応募締切時点)	経済学部、経営学部	併用可		○	○	・学業優秀で、社会に対する貢献意欲の高い者 ・GPA3.00以上で、家計の収入基準が財団の定める金額以下に該当する者(募集要項確認) ・財団が指定する書類を適時提出できる者	10名					
8月	直接応募	(一財)高久国際奨学財団	給付	70,000円／月額	募集年度4月から1年間			○ 進学予定者含			併用不可(貸与型奨学金は除く)	○	○		募集年度4月時点で以下のすべてに該当する者 ①博士後期に在学または募集年度4月以降の入学が許可されており、在学証明書、合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明できる書類のいずれかを提出できる日本国籍を有する者 ②国際理解と親善に関心をもち、貢献を意図する者 ③月例会(月1回、土曜日)、および財団が主催する行事に必ず出席できる者 ④月報に400字のレポートを必ず提出できる者 ⑤奨学金支給終了後も財団と通信等を継続する意思のある者	2名					
8月	直接応募	(公財)本庄国際奨学財団	給付	※学位取得までの最短期間にあたる期間 (1)月額21万円を1～2年間 (2)月額19万円を3年間 (3)月額16万円を4～5年間	正規の最短修業年限		○ 進学予定者含	○ 進学予定者含	修士30歳以下、博士35歳以下(入学予定者含)		併用不可		○		・大学院修了後、母国に貢献する将来計画を持つ者 ・国際親善や交流に理解を持ち、財団で行なう行事や同窓生ネットワークに積極的に参加または協力できる者 ・年4回の面談が受けられる者 ・アルバイトは禁止	若干名					
8月	直接応募	(一財)ユニオン奨学財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限 (最長6年間)	○ 1年生			募集年度4月入学者		併用可(ただし選考において考慮される場合あり)		○	○	・分野を問わず、社会に役立つ夢を持つ者 ・学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とする者 ・財団が主催する行事に積極的に参加できる者 ・財団が定めるレポート等を適時提出できる者	10名程度					

【令和6年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内のあった時期	申請方法	財 団 名 奨 学 会 等 名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出 願 資 格 等											※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。	金体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数			
						学部	修士 （前期）	修士 （後期）	年齢	専門分野	併用条件	学力 要件	経済 理由	面接											
9月	直接応募	（社）福祉さほうと21 生活支援プログラム （難民等、外国出身者向け）	給付	20,000円／月	募集年度4月から1年間	○								○	○	○					20名程度				
9月	直接応募	（一財）生涯学習開発財団	給付	500,000円／1回	募集年度1回 3月			○	○	50歳以上					○	○	○								
9月	直接応募	タクト奨学金	給付	200,000円／1回	募集年度1回 3月	○		○	○	25歳以下			併用可		○	○	○					4名程度			
9月	直接応募	（一財）阪大微生物病研究会 BIKEN谷口奨学金	給付	80,000円／月額	正規の最短修業年限										○							10名程度			
10月	直接応募	（一財）荒井芳男記念財団	給付	100,000円／年額（一括給付）	正規の最短修業年限	○ 1年生				23歳以下（募集年度4月1日時点）	機械系、化学系、電気系		併用可		○	○	○					35名程度			
10月	直接応募	（一財）霞山会	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限				○	○	修士30歳未満、博士40歳未満	中国または台湾に関する分野	併用不可 （謝礼を伴う原稿執筆等可）		○	○	○					5名			
10月	直接応募	（公財）佐々木泰樹育英会 ≪口語詩句奨学金≫	給付	500,000円／年額（月割）	募集年度4月から1年間			○	○	○	28歳以下（募集年度4月2日時点）	口語による詩・アフォリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者			○							5名			
10月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 ≪建築奨学金（構造設計・設備設計を含む）≫	給付	学部500,000円／年額（月割） 院2,000,000円／年額（月割）	募集年度4月から1年間		○	○	○	○	29歳以下（募集年度4月2日時点）	建築（構造設計・設備設計を含む）を専攻										若干名			
10月	直接応募	（公財）似島国際奨学財団 上期	給付	自宅生：50,000円／月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	募集年度4月から1年間			○	○	1～2年生	学部生23歳以下、院生25歳以下（募集年度4月1日時点）		給付型奨学金との併用不可（貸与型奨学金との併用可）		○	○	○					最大140名 （上期・下期合わせて）			
10月	直接応募	（公財）服部国際奨学財団秋季	給付	100,000円／月額	正規の最短修業年限		○		○	○	学部25歳未満、修士32歳未満、博士38歳未満（募集年度10月1日時点）		併用可		○	○	○					25名			
11月	直接応募	（一財）TCS奨学会	給付	50,000円／月額	募集年度4月から1年間		○		○	進学予定者含			併用可（ただし審査基準要項の一部となります）			○						学部生15名程度 院生15名程度			
12月	直接応募	（公財）岩佐教育文化財団	給付	120,000円／年額	募集年度4月から1年間 （申請審査の上1年毎の更新可）		○				20歳以下（募集前年度3月30日時点）		併用可			○	○	○				若干名			
12月	直接応募	（公財）岩谷直治記念財団	給付	150,000円／月額	正規の最短修業年限 （最長2年）				○	○	○	修士30歳未満、博士35歳未満（募集年度4月1日時点）	自然科学系 工学、理学、農学全般	併用不可、研究支援金等不可 （10万円未満の学内奨学金は除く）		○	○	○				5～10名			
12月	直接応募	サノフィ次世代奨学金	給付	学部1,000,000円／年額 院1,200,000円／年額	正規の最短修業年限			○	○	○			給付型奨学金との併用不可			○						若干名			
12月	直接応募	（公財）東亜留学生育友会	給付	30,000円／月額	募集年度4月から1年間				○	○						○						若干名			
12月	直接応募	＜新創財団＞ （公財）日本未来財団	給付	300,000円／年額（一括給付）	募集年度1回		○ 3年生		○ 1年生		25歳以下（募集年度4月1日時点）		併用可			○	○					10名			
3月	直接応募	NPO法人ふれあい自然塾 松井奨学金	給付 +貸与	30,000円／月額 （給付20,000円+貸与10,000円（無利子））	正規の最短修業年限		○ 1～3年生				1年生18歳以下、2年生19歳以下、3年生20歳以下（募集年度4月2日時点）		併用不可			○						各学年10名程度			
4月	直接応募	（一財）あしなが育英会	給付 +貸与	一般70,000円／月額 （給付30,000円+貸与40,000円（無利子）） 特別80,000円／月額 （給付30,000円+貸与50,000円（無利子））	正規の最短修業年限		○				25歳以下		併用可			○	○					250名程度			
4月	直接応募	（公財）交通通児育英会	給付 +貸与	学部4～60,000円 （うち20,000円は給付）／月額 院5～100,000円 （うち20,000円は給付）／月額	正規の最短修業年限		○ [※]		○ [※]	○ [※]	25歳以下（申込時）		併用可			○						学部300人 院20人			
2月	直接応募	（公財）基徳協会≪広島県≫	貸与	20,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限		○		○	○			併用可			○	○	○				記載無			
2月	直接応募	上越学生寮奨学生 ≪上越市、妙高市、糸魚川市≫	貸与	学部70,000円／月額（無利子） 院100,000円／月額（無利子）	貸付決定月から 正規の最短修業年限		○		○	○			併用可 （上越市奨学金との併用は不可）			○						学部6名 院1名			
3月	直接応募	（公財）花王 芸術・科学財団	貸与	50,000円／月額 または 100,000円／月額	正規の最短修業年限					○	30歳以下（募集年度4月時点）		併用可			○	○					10名程度			
9月	直接応募	（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団（沖縄県）	貸与	学部45,000円／月額（無利子） 修士70,000円／月額（無利子） 博士100,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限 （毎年継続審査あり）		○		○	○			貸与型奨学金併用不可 給付型奨学金併用可			○	○					学部：101名程度 院生：9人程度			

【令和6年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	財 団 名 奨 学 金 等 名	給付／ 賞与	金額（円）	支給期間	出 発 資 格 等										※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。	金 体 で の 採 用 者 数	大 学 推 薦 枠	学 内 申 請 者 数	大 学 推 薦 者 数	大 学 採 用 者 数
						課程			年齢	専門分野	併用条件	学力 基準	経済 調査	面接							
						学部	修士 （費期）	博士 （費期）													
1月	直接応募	行田市奨学金返還支援金制度	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
3月	直接応募	岡山県教員奨学金返還支援事業	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
5月	直接応募	（公財）東京しごと財団	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ≪産業人材確保枠≫	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ≪やまがた若者定着枠≫	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
7月	直接応募	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
7月	直接応募	東京都介護職員奨学金返済・育成支援事業	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
7月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く 学生奨学金返還支援事業 （指定地域枠）（業種指定枠）	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
7月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認			○ 1年生			工学、理学、農学、 薬学					それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
8月	直接応募	旭川市若者地元定着奨学金返還補助事業	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
8月	直接応募	（公財）鹿児島県育英財団	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
8月	直接応募	東京都障害福祉サービス事業 職員奨学金返済・育成支援事業	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
12月	直接応募	広島県未来チャレンジ資金	返還 補助	詳細は各自ホームページを確認		○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						